

公益財団法人 東京都農林水産振興財団
東京都農林総合研究センター
森林・林業関係研究発表会



日時：平成22年5月18日（火） 15:00～16:00

※林業普及協会総会が延びた場合、開始が遅れる場合がございますのでご了承願います。

場所：農林総合研究センター日の出庁舎（東京都森林組合）研修室

プログラム

1. 開会の挨拶 15:00
2. 研究発表（座長：緑化森林科長 小寺孝治）
 - (1) 人工林内の埋土種子について 15:05～15:20
荒川純彦
林内に光を入れることを目的に間伐を行った場合、どのような種類の植物が生育するのか？その指標のひとつとして、林内に潜在的に埋まっている発芽可能な種子（埋土種子）の種類やその個数を調査し、針広混交林化の可能性を検討したのでご報告いたします。
 - (2) 伐採跡地の植生パターン 15:20～15:35
西澤敦彦
スギ・ヒノキ人工林の伐採跡地において、放置した場合に植生はどのように変化するのか？森づくりの方法を検討するため、伐採後の経過年数や流域が異なる伐採跡地の植生を調べて広葉樹の動態を明らかにしたのでご報告いたします。
 - (3) グレーチングでシカの歩行は阻害できる？ 15:35～15:50
中村健一
今後、被害が減少した場合、これまでのような強固で頑丈なシカ侵入防止柵に加えて、より設置が簡単で安価な防止柵も求められます。そこで、微害地での使用を目的としてシカの歩行を阻害する手法について検討したのでご報告いたします。
3. トピックス, その他 15:50～16:00
花粉の少ないスギの種子を青梅で本格生産開始
4. 閉会 16:00



お問い合わせ先
東京都農林総合研究センター
緑化森林科 小寺・西澤
Tel.042-528-0538 (ダイヤル)